

Nishiki
Awaji
project





引けば引くほどに強く結ばれる「あわじ結び」のように。
それぞれの色が絡み合うほどに美しく、私たちはこのまちの「錦」を未来へと織り成していく。
日本の絆を象徴する「錦織」は、先染めの多彩な糸が緻密に重なり合うことで光の織物となる。
住民の誇り、企業の熱量、キャストの参加。バラバラだった個性の糸が、翻訳者という「杼（ひ：縦糸と横糸を紡ぐ織機の用具）」によって結ばれ、神田錦町はかつてない品格と輝きを放つ錦のまちへ。

ま ち を あ る く

神田祭写真展

神田錦町



町会員 1 年目

神田祭すら知らなかった
「素通りよそ者ワーカー」
が見つけた

まちを結ぶ『翻訳』のカタチ

ABOUT KANDA NISHIKI-CHO

OCHANOMIZU



AWAJICHO

JIMBOCHO

面積：東京ドーム **0.8** 個分

神田明神氏子町会

昼夜人口比 **22 : 1**

KANDA

学習院・一橋発祥の地

NISHIKI-2

OTEMACHI

圧倒的な昼夜人口差による コミュニティの断絶

休日・夜間の「空白の時間」、昼の賑わいと対照的な静寂

コミュニティの不在が生む「防犯の空白」

住民の減少と1万人のワーカー、まちの「伝統」を知らない「よそ者」の増加

揺らぐ「文化の継承」

まちの伝統と繋がりたい。
でも、まちの奥行きに触れる
「きっかけ」がない。

企業

ウォークアブルを推進したい。
でも、現場のきめ細やかな合意形成や
管理運営は、行政だけでは手が足りない。

自治体

このまちの空気を一番吸っている。
だけど、ただ素通りしているだけの1万人。

**ワーカー
学生
来訪者**

知らない「何か」に変わるのは怖い。
けれど、自分たちだけではこの色を守りきれない。

住民

文化や伝統を守りたい。
でも人口減少によって
担い手が不足している。

町会

「よそ者」という名の、新しい『杼（ひ）』になる。
透明な1万人を、まちのキャストへ。



2017Apr

神田錦町二丁目にオフィスのある職場へ入社

2024Nov

ひょんなことから町会に入会（プライベートで）
神田祭のことすら知らない

2025Apr26

5月上旬に開催される神田祭の御神輿の掃除
参加には半纏や地下足袋が必要だと知る
(Tシャツやスニーカーじゃダメなんだ…！)

2025May9

何も知らずに参加
え？2日間やるの？すごいな————
記録の写真？OK！撮ります！

2025May10-11

何これ楽しい！カッコイイ！！
すごいすごいすごい！！感動！！！！！！



ポスター、
確かにあった気はします…
会社のあるビルに貼ってあったかも



初の町会新賀会
借りてきた猫感

神田祭2週間前。Tシャツスニーカーがダメだと知る。



御霊入れ。この時初めて集合写真を撮る。
カッコよくてカッコよく撮りたくて思わず脚立に上り、
神田神社の広報の方に町会広報と間違われる。



PROCESS





住友商事様への
共創のご提案・ご相談



現場検証
設営の立会い



展示デザインの立案
画像選定・コピー制作
校正



スタンプラリーの
計画・運用
町会SNSの運用



区SNS投稿への
画像制作
ライティング



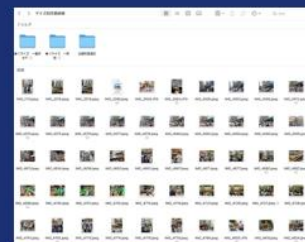
フライヤー・ポスターのデザイン・制作



折本・パンフレットのデザイン・制作



スタンプラリー
協力をお願い・設営



5000枚からの
画像選定



パンフレット補充
追加パネルの制作



PROCESS



かさなる



今年四年の歴史
神田祭
1984年（昭和59年）に、神田区民会館で初めて開催された神田祭。その以来、毎年開催されており、今年で四年の歴史を刻みました。今年も、多くの区民が参加し、大盛況のうちに開催されました。



PROCESS



点から面へ。
歩きたくなるまちの、次なる物語へ。



引けば引くほどに強く結ばれる「あわじ結び」のように。

それぞれの色が絡み合うほどに美しく、私たちはこのまちの「錦」を未来へと織り成していく。

日本の粹を象徴する「錦織」は、先染めの多彩な糸が緻密に重なり合うことで光の織物となる。

住民の誇り、企業の熱量、キャストの参加。バラバラだった個性の糸が
翻訳者という「杼（ひ：縦糸と横糸を紡ぐ織機の用具）」によって結ばれ
神田錦町はかつてない品格と輝きを放つ錦のまちへ。

